

# DevOps for Mainframe Application Development Solutions



## 概要

CA TechnologiesのDevOps for Mainframe Application Developmentソリューションは、アジャイルおよび最新の開発手法、ツールセット、コーディング言語を使用したメインフレーム・アプリケーションの開発と保守を可能にします。

「一部は CA Gen、一部は .NET を備えた店舗で仕事をしていますが、.NET の方は本番に入るといつも問題が発生します。」

CISS, Inc. 社長、David Rothschild 氏

出典：IT Central Station、[「CA Endeavor SCM Review」](#)、2016 年 12 月 2 日

## お客様のメリット

- **最新のエンタープライズ・ツールセット**：Java™ と Eclipse をサポートする共通の開発環境によって開発者を支援します。
- **アジャイルの拡大**：ソフトウェアの統合による、メインフレーム・チーム向けのアジャイル・プランニング
- **単一のエンタープライズ・ビュー**：共通のサードパーティ製ツールへの統合によって、ソフトウェア・アーティファクトのライフサイクル追跡し、一元的なビューを表示

## ビジネス・バリュー

- メインフレーム・チームのタイムツーマーケットを短縮するアジャイル・プロセスとツールを使用し**アジャイルを推進**
- メインフレームで最新のツールセットと言語を使用し、**チームをトレーニング**
- モバイルからメインフレームまでのソフトウェア開発ライフサイクル（SDLC）の追跡可能性と管理によって、開発プロセスに**メインフレームを統合**

## CA の強み

- **信頼できるパートナー**：ガートナー社の市場シェア最新情報によって示された 2015 年の市場シェアに基づくと、CA は AD メインフレーム・ツール向けメインフレーム・アプリケーション開発市場における世界のリーダーです。<sup>1</sup>
- **デジタル・トランスフォーメーションへの尽力**：Fortune 30 の企業の 70% が CA の Mainframe Application Development and Quality and Testing Tools を使用して、アプリケーション・エコノミーで最善の顧客エクスペリエンスを実現するための規模とビジネス・アジリティを達成しています。<sup>2</sup>
- **優れた価値の実現**：CA コア・システム・コンサルティング・プログラムにお申込みいただいたお客様は、メインフレーム・ソリューション向けの DevOps を標準化することで、平均 210 万ドルのコスト削減を達成しました。<sup>3</sup>

ソリューション	説明
<b>CA Application Lifecycle Conductor</b>	<p>CA Application Lifecycle Conductor はタイムツーマーケット短縮と信頼性向上への障害を取り除くことで、ビジネス・アジリティを改善します。継続的フィードバック・ループを確立し、ガバナンス、可監査性、追跡可能性、モバイルからメインフレームまでの透明性を改善します。複雑なテストの関係を簡略化して保存し、メインフレームのテストを自動化し迅速化します。ご希望のアプリケーション・リリース自動化ソリューションによってデプロイを調整し、コードのリリースを効率化します。</p>
<b>CA Development Environment for z Systems</b>	<p>CA Development Environment for z Systems は、メインフレーム・アプリケーションの保守、サポート、開発を行うチーム向けの最新の統合開発環境 (IDE) です。このソフトウェアは IBM® z/OS® アプリケーションの開発と保守を迅速かつ効率的に実行するために強化されたツールセットです。バッチ、IBM CICS®、IBM IMS™、IBM DB2® 環境向けに設計された COBOL、PL/I、HLASM 開発ツールの豊富なセットは、Eclipse プラットフォーム・ベースのワークステーション用に最適化されています。高品質なメインフレーム・アプリケーションを構築する際に、開発者は最新のインタラクティブで統合された環境を活用し生産性を強化できます。</p>
<b>CA Endeavor® Software Change Manager</b>	<p>CA Endeavor Software Change Manager (CA Endeavor SCM) は、メインフレーム・アセットの保護と管理のために標準化された信頼性の高い自動化されたアプローチを提供します。開発プロセス全体を自動化し、特定のビジネス要件に適合できるよう設計されており、一貫性と完璧な制御の確保を可能にします。変更されたコードの 1 行目からデプロイ、変更追跡に至るまで、CA Endeavor SCM はソフトウェア変更プロセスを促進するだけでなく、ビジネスを差別化し拡大するために役立つソフトウェアのデプロイを効率化することで、DevOps の課題に自然に対応できるようにします。</p> <p><b>CA Endeavor Software Change Manager Plus には現在以下が含まれます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ CA Endeavor Software Change Manager External Security Interface</li> <li>▪ EZ/Key CMS for z/OS</li> <li>▪ CA Librarian® 用インタフェース</li> <li>▪ CA Panvalet® 用インタフェース</li> </ul>
<b>CA Gen</b>	<p>CA Gen は実績あるモデル中心の開発環境で、高性能でスケーラブルなエンタープライズ・アプリケーションの設計、デプロイ、保守を行えます。モデル化とコード生成の統合によって、ミッションクリティカルなプロセスを実行するための、プラットフォームに依存しないアプリケーションをデリバリーできます。またアジャイル開発の手法を使用して、再利用可能なソフトウェア・コンポーネントや Web サービス対応のアプリケーションの設計および導入、レガシー・アプリケーションのモダナイズ、システムの統合を行えます。CA Gen の 1 つのアプリケーション設計を使用すれば、1 つの開発者スキルセットでネイティブ・コードを生成し、複数のプラットフォームやアーキテクチャにデプロイできます。</p>
<b>CA Plex</b>	<p>CA Plex は 1 つの統合環境を提供することで、より迅速で効率的なアプリケーション開発を可能にするため、開発者の生産性が改善します。「パターン」と呼ばれる事前定義済みでカスタマイズ可能な構成要素を使用し、Microsoft® Windows® / .NET/ AZURE™、Java/J2EE または IBM Power Systems™ / IBM i® など複数のプラットフォーム向けの大規模なビジネス・アプリケーションを、開発者がより容易に構築し保守できるようになります。CA Plex を使用することで開発者は新規テクノロジーを活用し、生産性を向上させて、ビジネス・ニーズに対応する、より費用対効果の高い高品質なアプリケーションのデリバリーが可能になります。</p>

ソリューション	説明
<b>CA Easytrieve® Report Generator</b>	<p>CA Easytrieve Report Generator はメインフレーム、UNIX®、Linux®、Windows 環境向けのパワフルな情報抽出およびデータ管理のシステムです。企業のレポート生成機能とデータ操作機能を組み合わせ、シンプルで習熟が容易な CA Easytrieve 言語によって、メインフレームやその他のサポート対象システム上に常駐するデータへのアクセスを可能にします。この直観的なプログラミング言語は新人ユーザが簡単なレポートを作成できるよう設計されており、同時に、経験豊富なユーザが高度なタスクを実行するために活用できる拡張機能を提供します。</p> <p><b>CA Easytrieve Report Generator for z/OS® Plus には現在以下が含まれます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ EZ/Key™ CICS for z/OS</li> <li>▪ EZ/Key CMS for z/OS</li> <li>▪ EZ/Key TSO</li> <li>▪ Easytrieve Report Generator Runtime</li> </ul> <p><b>CA Easytrieve Report Generator CA IDMS™ Plus には現在以下が含まれます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Report Generator CA IDMS Option for SQL</li> <li>▪ Report Generator CA IDMS Option for SQL and NON SQL</li> </ul> <p><b>CA Easytrieve Report Generator CA Datacom® Option Plus には現在以下が含まれます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Report Generator CA Datacom Option for SQL and NON SQL</li> <li>▪ Report Generator CA Datacom Option for SQL</li> </ul> <p><b>CA Easytrieve Online Report Generator for TSO Plus には現在以下が含まれます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Runtime Report Generator for TSO</li> <li>▪ Report Generator for TSO/XA DB2</li> </ul> <p><b>CA Easytrieve Online Report Generator for CICS XA Plus には現在以下が含まれます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Runtime Report Generator for CICS</li> <li>▪ Report Generator for CICS SP DB2</li> <li>▪ Report Generator for CICS/XA DB2</li> </ul>
<b>CA 2E</b>	<p>CA 2E では開発設計モデル、ネイティブ・コード生成、およびデプロイ機能が 1 つの開発環境に統合され、アプリケーション開発を簡略化します。CA 2E はデータ中心型の手法を用い、IBM i server (旧称 AS/400®) 向けアプリケーションを構築するためのコード、データベースの設計と定義、ヘルプ・テキストといったオブジェクトを自動的に生成します。CA 2E によって開発者は高品質なアプリケーションの開発を加速でき、容易に保守できますまた、従来および新しい IBM i 対応テクノロジーを活用しているため、コンポーネントベースのアーキテクチャとシステムやプラットフォームにまたがるデータ統合など、重要な開発トレンドに効果的に対応できます。</p>

詳細については、[ca.com/jp/appdev](http://ca.com/jp/appdev) をご覧ください。

CA Technologies (NASDAQ : CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーションケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については [ca.com/jp](http://ca.com/jp) をご覧ください。

1.Gartner, 「Market Share: All Software Markets, Worldwide, 2015」、2016年3月31日、2.3 2016年10月に公開された Fortune 500 企業と 2016年10月現在、CA 製品をライセンス購入している CA Technologies メインフレームの顧客との比較に基づく情報、3. 上記の年間削減額は、CA Technologies の顧客契約の分析から推測したものです。これらの値は達成可能な結果を保証するものではなく、現状のインフラストラクチャ、要員、プロセス、および CA Technologies ソリューションの適切で有効な実装、導入、使用に応じて異なる場合があります。

Copyright © 2017 CA. All rights reserved. Microsoft、Windows、AZURE は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。IBM、z/OS、CICS、IMS、DB2、Power Systems および i は、International Business Machines Corporation の米国、その他の国またはその両方における登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。UNIX は The Open Group の登録商標です。Java および Java ベースのすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Oracle Corporation の商標です。本書に記載の他のすべての商標、商号、サービス・マーク、ロゴは、該当する各社に帰属しています。本書は情報提供のみを目的としています。本書に含まれる情報の正確性または完全性について CA は一切の責任を負いません。準拠法で認められる限り、本書は CA が「現状有姿のまま」提供するものであり、いかなる種類の保証（市場性または特定の目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害性についての黙示の保証が含まれますが、これに限定されません）も伴いません。また、本書の使用が直接または間接に起因し、逸失利益、業務の中断、営業権の喪失、業務情報の損失等いかなる損失または損害が発生しても、CA は一切責任を負いません。CA がかかる損害の可能性について明示的にあらかじめ通告されていた場合も同様とします。本書に記載された情報は、幅広い開発および顧客環境における参照ソフトウェア製品から CA が得た経験に基づいています。このような開発および顧客環境におけるソフトウェア製品の過去の性能は同じ環境、類似した環境、または異なる環境におけるかかる製品の将来の性能を示すものではありません。CA は、ソフトウェア製品が、本書に記載される明確な説明どおりに動作することは保証しません。本書で参照される製品に対する CA のサポートは、(i) 参照される製品について提供されているドキュメントおよび仕様、(ii) 参照される製品に対する CA のその時点でのメンテナンスおよびサポート・ポリシーに従ってのみ提供されます。 CS200-257688\_0317